

問い合わせ先
海上保安庁 第四管区海上保安本部
(船舶海難統計担当)
交通部企画課長 小野 祐輔 (内線 2610)
(船舶海難防止担当)
交通部安全課長 安達 裕司 (内線 2620)
電話 052-661-1611 (代表)

平成 26 年 8 月 11 日



「霧海難防止強調運動」及び「海の事故ゼロキャンペーン」 の実施結果について

4月26日(土)から7月31日(木)までの間、「スローダウン すべての見張りを研ぎ澄ませ」をスローガンに「霧海難防止強調運動」を実施しました。運動期間中は、衝突海難事故が2件(4隻)発生し、過去4年間継続していた海難事故ゼロが途切れました。

また、7月16日(水)から7月31日(木)までの間は、「海難ゼロへの願い」をスローガンに東海地方における「海の事故ゼロキャンペーン」を実施しました。この運動期間中は、海難事故が8件(9隻)発生し、昨年に比べて1件(2隻)多い結果となりました。

1 霧海難防止強調運動の実施結果について

(1) 期間中の視界不良及び海難事故発生状況

視界不良(視界2,000メートル以下)の発生回数は計8回、発生時間は計約38時間となり、過去5年間で最も多くなりました。

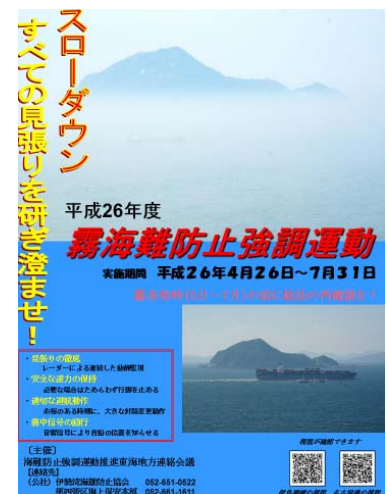
視界不良時の海難事故は2件(4隻)発生し、2件の事故はともに貨物船と漁船の衝突で、うち漁船の乗組員1名が全治4週間の怪我を負いました。

(2) 期間中の活動状況

訪船指導396隻、企業等訪問111箇所、海難防止講習会等20回(784人受講)等を実施しました。

(3) 今後の取り組み

過去4年間継続していた視界不良時の衝突・乗揚海難事故ゼロが途切れました。衝突原因の詳細は現在調査中ですが、例年に比べ視界不良の発生回数及び時間が多かったほか、漁業機器の操作に集中し見張りを怠っていた、漫然と見張りをしていた又はレーダーによる見張りを実施して



▲霧海難防止強調運動
ポスター

いたものの霧による視界不良により避航動作が遅れた等の要因が、原因の一つと考えられます。

視界不良時の海難防止の取り組みは、今後も対象期間に捉われることなく、活動を行ってまいります。

2 海の事故ゼロキャンペーンの実施結果について

(1) 期間中の海難事故発生状況

海難事故は8件(9隻)発生し、昨年に比べて1件(2隻)多い結果となりました。

(2) 期間中の活動状況

安全思想の普及に係る各種行事21回(9,522人参加)、訪船指導168隻、海難防止講習会等16回(1,471人受講)等を実施しました。

(3) 今後の取組み

本キャンペーン中には、全国において官民関係者が一体となった各種広報活動、地域に密着した海難防止講習会、海上安全教室等が行われ、広く国民の皆様には海の事故防止へのご理解とご協力をいただくことができましたが、昨年に比べて1件(2隻)多い結果となりました。

今後も引き続き、「海の事故ゼロ」を目指し、特にマリンレジャー活動が活発になる土日祝日を中心に、安全指導等を行ってまいります。



▲海の事故ゼロキャンペーン
ポスター

3 各活動実施状況について



▲こども安全教室
「紀和 B&G 海洋センター主催ヨット教室」



▲ポスター掲示協力依頼
「豊浜漁業協同組合」



▲キャンペーン周知活動
「高速道路 安濃サービスエリア」



▲拡大写真
▲キャンペーン周知活動
「ナゴヤドーム」



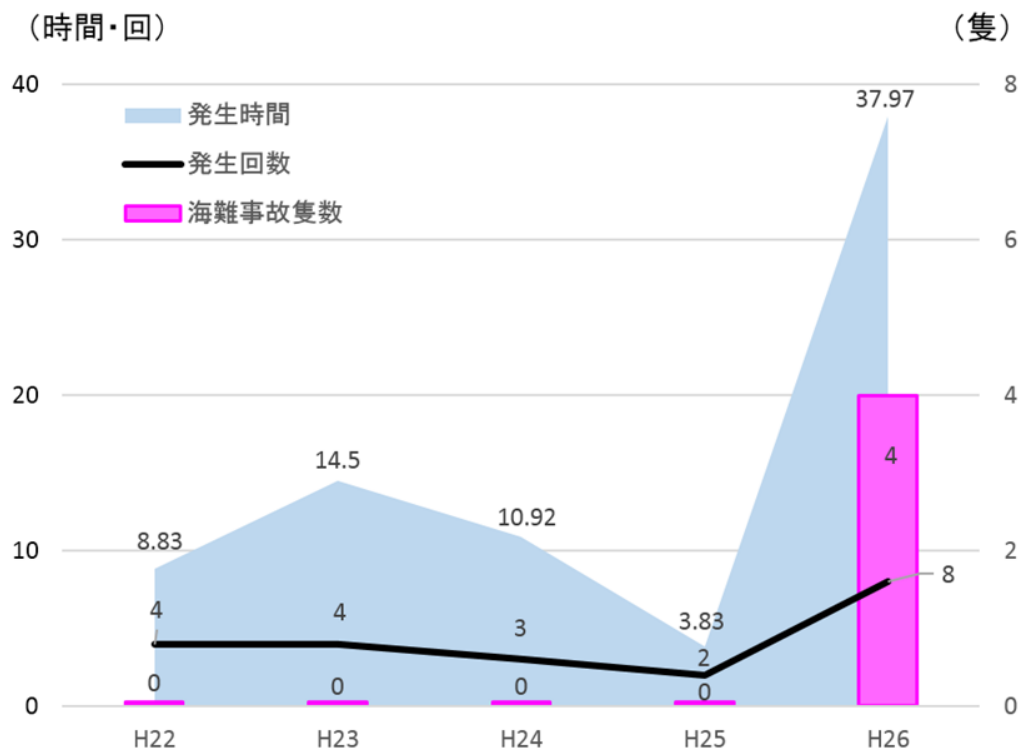
▲一日港長等任命式
「とよはしみなとフェスティバル 2014」



▲旅客船安全総点検
「関係機関（鳥羽海事事務所）との連携」

4 海難事故発生状況等について

(1) 霧海難防止強調運動期間中の視界不良（視界 2,000 メートル以下）の発生状況及び衝突・乗揚海難事故隻数



※ 視界不良（視界 2,000 メートル以下）の発生状況は、伊勢湾海上交通センターにおいて把握した伊良湖水道航路の視界の状況である。

(2) 海の事故ゼロキャンペーン期間中の海難事故隻数

